



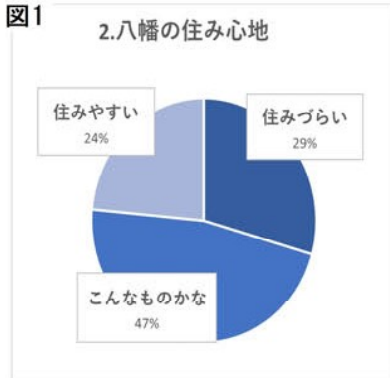
# 教育文化部会アンケートから

教育文化部会（長柄寿子部会長）は、プロジェクトYの一環として、これから地域の将来を担うこととなる若い世代の方々が今住んでいる八幡地域についてどう思っているのかについて尋ねるアンケート調査を行いました。対象は八幡小、古後小、八幡地区から通うくす星翔中学校の子どもを持つ親世代の方々です。

8つの設問のうち設問1から5までは選択式で、6から8は自由に記述していただきました。

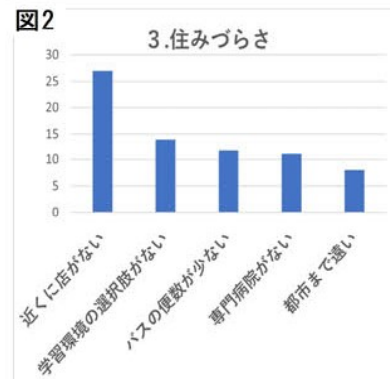
お陰様で36名の方から回答をいただくことができました。その結果については次のようになります。若い世代の方々の貴重な考え、ご提言については今後コミュニケーションとして、方向性を以って望むこととなります。保護者の方々には忙しいなか、ご協力をいただきました。ありがとうございました。

設問1の「八幡地区の居住年数は。」については、



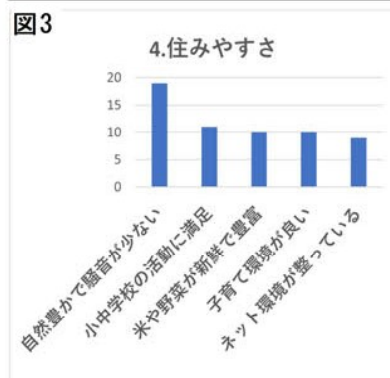
若い方々だけあり、19年以下が64%となっています。

設問2の「八幡地区の住み心地は。」の問い（複数回答可）には、図1の結果になりました。若い世代は3割が住みづらいと感じて



設問3の「あなたが感じる八幡の住みづらさは。」の問い（複数回答可）には、11の選択肢の中から選んでいたのだが「近くに店がない」でした。あとは「学習環境」、「バスの便数」等で、上位5位までを図2に表しています。

設問4の「あなたが感じる八幡の住みやすさは。」の問い（複数回答可）には、



設問5の「多世代交流があれば参加する？」の問いには、「はい」が17%、「いいえ」が34%、「わからない」が49%という結果となり、若者から見ても多世代との交流にはやや抵抗があるのかなという印象です。

設問6の「将来八幡の里づくりに必要なものは。」の問いには、20人の方が回答。「若い人が住みやすい環境整備」、「世代間交流のコミュニケーション」の意見などが多くあったほか

設問7の「あなたが描く理想の八幡の里はどんなもの。」の問いには、18人の方が回答。「子育てするから八幡がいいね。と云ってもらえる里」、「一度八幡を出ても、また戻ってくるような魅力ある里」、「歩いて買い物に行けるような里」、「コミュニケーションの充実で若者に魅力のある里」などの「若い者が思い描く理想の八幡の姿」を垣間見ることができました。

設問8の「理想の八幡にするため行えるのは。」には、14人の方が回答。その中には、「世代間交流のコミュニケーション」の場づくりが多かったが、「ネットを活用した田舎暮らしの中での仕事、雇用の確保に向けた様々な検討の必要性」、「町営住宅を作り、地元から通ってでも働ける地域社会の実現」、「企業誘致などでの雇用の確保」などの切実な提言がありました。

11の選択肢のなかで上位5位までが図3の通りです。「自然が豊かで、騒音が少ない」がトップで田舎の良さを感じています。特に「ネット環境が整っている」も魅力のようでした。



【編集・発行】  
八幡地区コミュニティ  
運営協議会  
【事務局】  
八幡自治会館  
TEL: 72-0033

紙面の都合上掲載出来なかった記事や写真をホームページ上に公開しているの、ぜひご覧ください。ホームページへは「八幡自治会館」検索